

下呂更生保護 サポートセンター だより

第 61 号

〒509-2517 下呂市萩原町萩原 1359 番地 1
TEL/FAX 0576-20-4216
E-mail gerohogoshikai@ccn.aitai.ne.jp

新任保護司の紹介

「新任のあいさつ」



下呂市 湯之島
柏木 寛隆

この度、新しく保護司として活動させていただくことになりました。湯之島在住。37年間、学校や教育行政等で教育に関わり、4 年前に定年退職をしました。

昨年 11 月末、辞令交付のため岐阜市にある岐阜保護観察所というところへ行ってきました。お話を聞いたり研修を受けたりする中で、担当の方々が私たち新任保護司のことを“先生”と呼ぶことにはビックリ！世の中には先生と呼ばれるいろんな立場の人がいることを改めて知り、新鮮な気持ちになりました。

保護観察官や先輩保護司の皆さんからご指導をいただきながら、37年の社会経験を少しでも生かすことができると考えています。どうぞよろしくお願ひします。



下呂市役所



小坂中学校 後藤 菜穂 さん

第 74 回「社会を明るくする運動」作文コンテスト
優秀賞 (岐阜県小中学校長会会長賞) 受賞

1 月 18 日、岐阜市民会館において小中学校作文コンテストの表彰式がありました。小坂中学校 3 年の 後藤菜穂さんが中学校の部で 2703 点の応募作品の中から厳正なる審査を経て優秀賞の栄に浴されました。作文コンテストは平成 5 年から始まり今年で 32 回目となります。下呂市内の小中学校からも今まで幾度となく応募してきましたが、今回のような大きな受賞は初めての出来事です。誠におめでとうございます。

後藤さんは地域のつながりの深さが犯罪や非行を防ぎ、立ち直りを支える「明るい社会」の原動力となることを自らの体験を通して感じられました。



市長室での報告

22 日には下呂市役所を訪問し市長へ受賞を報告しました。市長からは「ボランティア活動を通して、地域のつながりだけでなく下呂市全体の発展を考えてもらえることはたいへん心強く、これからも頑張ってください」というお言葉がありました。

また、24 日には小坂中学校の朝の全校集会で後藤さんが作文を読み上げ披露されました。その後「この賞は中学校全体での取り組みが評価され、後藤さんが代表で受賞されたもので、みんながもらった賞と受け止めていきましょう」と言われた校長先生の言葉がとても印象に残りました。また保護司会の青木会長より受賞の記念に木製の盾などが贈呈されました。後藤さんの作文は裏面に掲載しております。



木目のやさしい朴木で作った記念の盾



小中学校長会会長より表彰



後藤さんは後列左から 4 人目



小坂中学校

「地域とのつながりが明るい未来をつくる」

下呂市立小坂中学校 後藤 菜穂

あなたは「住みやすい町」「生活しやすい町」とはどんな町を想像するだろうか。私が考える「住みやすい町」「生活しやすい町」は誰もが支え合い、温かくて固いつながりがある町だ。私が家の前で部活の練習をしていた時、通りかかったおばさんとの会話がそのことを表している。中学校である活動を行った私を新聞で知り、声をかけてくださったのだ。「新聞見たよ。あんた頑張っているのね。これからも頑張るね。」と。私を陰ながらずっと見守ったり、応援してくれたりしていることを知り、とてもうれしかった。ボランティア活動や、日々の挨拶などをきっかけに、ただ通りかかっただけでも会話が弾み、笑顔になれるぐらい地域の人には身近な存在になっていた。私はとても温かく、安心できる環境の中で過ごしているのだとありがたく感じた。だからこそ、私はこの小坂が大好きだ。

地域とつながり、笑顔を届けるために中学校でも、ある活動を行っている。それは、年に二回、地域の独居老人の方の家に訪問し、花を届ける活動だ。私は、あるおばあさんの家に毎年訪問している。実際に花を届けたときには「ありがとう」という言葉をずっとかけてもらえた。本当にうれしそうに花を持ったおばあさんの顔は今でも忘れることはできない。訪問した私まで笑顔になれる幸せな空間だった。そして、訪問して終わりではなく、年賀状を送ってくださったり、お年玉をくださったりなど、その後も関わりが続いている。

去年の十一月、地域とつながることの楽しさを改めて感じる事ができた。下呂市初の人と自然に優しいオーガニックなマルシェ「どさないさ」が私の町で開催された。私は中学生で企画・運営をする「子供縁日」にボランティアとして参加した。遊びに来てくれた小さい子供たちや小学生向けに、クイズや塗り絵、千本釣りを準備した。最初は準備期間が十分に取れず間に合うのか、不安でいっぱいだった。しかし当日、クイズや塗り絵、千本釣りを楽しんでくれる子どもたちやその姿をほほえましく見守る親さんを見て「頑張ってたかった」とうれしい気持ちでいっぱいになった。地域や年齢の垣根を越えた、いろいろな人と関わる事ができ、相手も自分も楽しむ事ができた。それと同時に、地域の人を自分たちの力で少しでも笑顔にできたという達成感があった。

私はたくさんの経験から地域とつながることは温かく、心地のいいものだと思える事ができた。こう思うのは、きっと私だけではないはずだ。去年、中学校でとった「またこの町に戻ってきたいか」聞いたアンケートでは、中学三年生の約六割が「戻ってきたい」と回答した。このように「また戻ってきたい」と思えるほど温かく、笑顔がいっぱいな町であれば、犯罪がなく誰もが安心して過ごせるのではないだろうか。また、もし罪を犯してしまった人がいたとしても、互いを支え合うことが当たり前になっているこの町なら、その人のことを理解し、立ち直りを助けることができると思う。このような町だからこそ私は、これからも、地域の人々の笑顔を増やし守るために、中学校で地域と関わる活動を企画したり、ボランティア活動に積極的に参加したりしていきたい。また、地域とつながることのよさをもっと多くの人に知ってもらいたい。この先もずっと、このつながりが途切れないようにするために、私が経験して感じたこと、学んだことを伝えていきたい。そして、私が大好きなこの町がこれからも、犯罪のない、誰にとっても住みやすく、暖かい町であるように、守っていきたい。

【審査員のコメント】

「小坂が大好きだ」こんな言葉が自然に出るのもうれいですが、地域とつながり笑顔にするための活動を自身で重ねていることにさらに感動しました。きっと、これからも小坂はあたたかい社会であり続けるでしょうね。

3月予定表（サポートセンター当番）

月	日	曜日	行 事 名	午前(9:00~12:00)	午後(12:00~15:00)
3	1	土			
	2	日			
	3	月	ひな祭り	都築保彦 山中麦子	永田光由 山中麦子
	4	火			
	5	水	就労支援委員会	青木正範 山中麦子	名和英一 各務敏文 齋藤直志 桂川国男
	6	木			
	7	金	執行部会16:00~	山中麦子	高橋典子 山中麦子
	8	土			
	9	日			
	10	月		高橋典子 山中麦子	高井範和 山中麦子
	11	火			
	12	水	広報委員会	大江真人 都築保彦 永田光由 可児正充	青木正範 山中麦子
	13	木			
	14	金		永田光由 山中麦子	山中麦子
	15	土			
	16	日			
	17	月		都築保彦 山中麦子	高橋典子 山中麦子
	18	火			
	19	水		青木正範 山中麦子	永田光由 山中麦子
	20	木	春分の日		
	21	金		都築保彦 山中麦子	高井範和 山中麦子
	22	土			
	23	日			
	24	月		青木正範 山中麦子	高橋典子 山中麦子
	25	火			
	26	水	広報委員会	大江真人 都築保彦 永田光由 可児正充	青木正範 高井範和
	27	木			
	28	金		高井範和 山中麦子	垣内新子 山中麦子
	29	土			
	30	日			
	31	月		都築保彦 山中麦子	高井範和 山中麦子

【今後の予定】

4月25日(金) 第1回定例研修会 & 総会
(日程の詳細につきましては未定です)